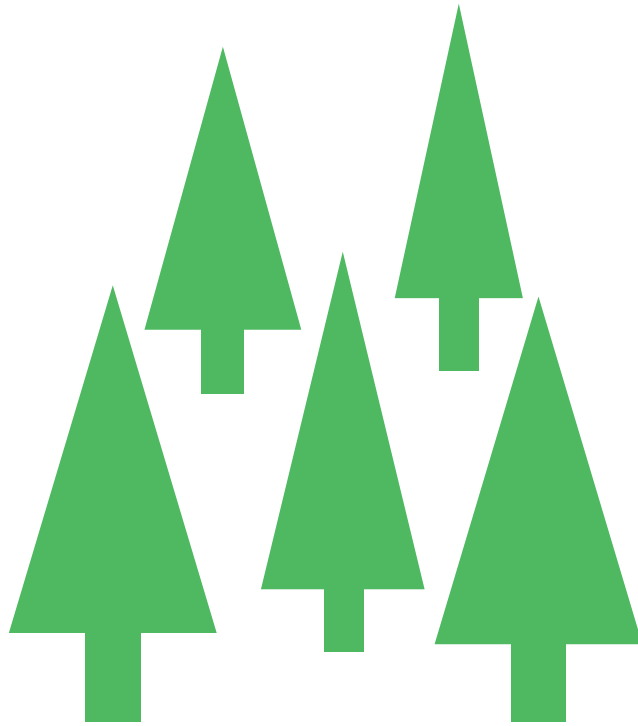


令和元年度

森林・山村多面的機能発揮対策交付金

活動事例集







林野庁

活動事例集

掲載団体一覧

団体名（活動所在地）	交付金タイプ	掲載ページ
冷水峠森づくりの会（北海道）	里 資	3～4
Linkers（群馬県）	竹 資	5～6
白山瀬波の会（石川県）	里	7～8
徳光町里山保全の会（福井県）	竹	9～10
NPO 法人 環境整備・森と竹で健康クラブ（静岡県）	里	11～12
NPO 法人 みえ里山自然ふれあいの会（三重県）	里	13～14
平松区森林愛好会（兵庫県）	里 資 機	15～16
春日山原始林を未来へつなぐ会（奈良県）	里	17～18
現川里山保全の会（長崎県）	里	19～20
諏訪会山林整備活動組織（大分県）	里 竹	21～22

【交付金タイプ別凡例】

-  地域環境保全タイプ（里山林保全活動）
-  地域環境保全タイプ（侵入竹除去・竹林整備活動）
-  森林資源利用タイプ
-  森林機能強化タイプ

活動所在地



冷水峠森づくりの会

(北海道余市郡余市町)

里

資

活動の経緯

標高 320m にある北海道余市郡仁木町東町緑ヶ丘の冷水峠周辺は、樹齢約 50 年のカラマツを中心とした人工林が約 4ha にわたって広がっています。

この土地を 2010 年に、「社会福祉法人札幌協働福祉会」が、障碍（がい）を持った利用者が宿泊し、自然の中で遊べる場所として活用しようと考えて、購入しました。

この地区の森林の多くは、長期間、間伐等の森林管理が行われず、荒廃が進んでいましたが、別の間伐ボランティアグループに協力いただき森林を整備したことで、森を手入れし、育てていくことの大切さを意識するようになりました。

こうして、札幌協働福祉会（以下「福祉会」という。）や地元農家の皆様などが協力しあいながら、冷水峠森づくりの会の活動は始まりました。

活動内容

活動対象地を自然と親しむ場として活用し、いろいろな生きものが共生しつつ、きのこや山菜採取、木材や薪生産など森林を生産の場・資源活用の場にする事ができるように活動を行っています。

現在は、針葉樹の間伐を進めることで光環境を改善し、広葉樹の実生を増やしていき、将来的には針広混交林へと移行させていくことを目指しています。そのためのササ刈りも定期的に行っています。

特徴的な取組

2011 年 3 月 11 日の東日本大震災に伴い、福島第一原子力発電所で事故が発生したことにより、子ども達の健康被害が心配されたため、その年の夏休みから、福島の子もたちを招く保養事業を始めました。この保養事業は現在でも、夏休みと冬休みに実施されています。



主な活動メンバー



雑草木の刈払い作業



椎茸の菌打ち作業



製品化された白樺石炭

活動の成果

森林整備を通じて、林内が明るくなり広葉樹の実生の発生を確認できるようになっています。

林内には、散策にも活用できる作業道の整備が進み、子どもたちや地域の方々が入りやすい環境を整えることができ、森林を身近に感じられる場の提供にもつながっています。

福祉と連携することで、知的障害者の方のための森林活動勉強会なども展開しています。加えて、東日本大震災に伴う被災地の子どもたちを招いた保養キャンプも継続しており、森林観察会や木工体験などを行っています。

障害を持った方や子どもたちが、森や自然に親しみ交流する場が生まれるとともに、安全で自然豊かな森づくりのために、福祉会や地元農家、森林ボランティア団体など、多様な方々の協力が進んでいます。



散策にも活用できる作業道



森林活動勉強会の様子



歩道の整備状況



整備後の歩道を散策する児童

今後の活動

森林の大切さについて、今後も地域住民の理解を深めるための取組を進めるとともに、活動を通じて多様な人々の交流の輪をより広げていくこととしています。

団体情報 冷水峠森づくりの会

所在地：〒046 - 0003 北海道余市郡余市町黒川町 15 丁目 24-2

電話番号：0135-34-7005 FAX：0135-34-7005

メール：node@mint.ocn.ne.jp

ホームページ：http://node0314.blogspot.jp/

Linkers (リンカーズ)

(群馬県利根郡みなかみ町)

竹 資

活動の経緯

群馬県みなかみ町には、谷川岳や利根川源流域をはじめとする豊かな自然が残されています。そうした自然環境と人が共生したまちづくりに取り組んできたことがユネスコに評価され、みなかみ町の全域を含むエリアが「みなかみユネスコエコパーク」として指定されています。

一方で、地元行政区において、集落周辺まで侵入する竹林が問題となっていました。また、山林所有者の高齢化等により山林の管理が難しくなるとともに、山林の荒廃や鳥獣害の増加が進み、観光資源としての魅力の低下を招いていました。

こうした中、町が主催した林業研修を通じて仲間の輪が広がり、自伐型林業によって森林の整備を進めることを目指す Linkers が設立されました。

活動内容

みなかみ町内の新治地区の山林を中心として、針葉樹林と広葉樹林の間伐を進めています。

また、集落周辺に繁殖してしまった竹林の除去を実施しています。地域の住民で山林の管理に困っている方々を仲間に加えながら、徐々に活動の規模を拡大していくことを目指しています。

森林整備の手法を学習する研修会等も開催しつつ、近隣の住民や小学校などとも連携しながら、木育（竹細工体験・薪割り体験など）にも力を入れ、山林に興味を持ち、活動に参加する仲間を増やすための取組を行っています。

特徴的な取組

荒廃する山林の整備を促進するとともに、搬出された木材を地域内で利用することで、森林資源の地域内循環による経済モデルを作っていくことを目指しています。

みなかみ町と家具メーカーが業務提携をしたことをきっかけに、伐採した広葉樹を家具の素材として販売するようになりました。



主な活動メンバー



竹林の整備の様子



チェーンソー作業の研修会



木育体験活動の様子

伐採竹はチップパーで粉碎後、竹炭として土壌改良剤等として活用し、将来的には道の駅などで販売することを目指しています。



薪割り体験の様子



木工体験の様子

活動の成果

みなかみ町と連携して整備することで、竹の侵入などで荒廃していた森林が薪などの資源を生み出す森へと変わり、地域活性化に貢献しています。また、活動を通して世代を超えた人と人との繋がりが深まり、森林に対する意識も高まっています。

こうした森林資源を活用した地域活性化のための活動は、テレビや新聞、雑誌でも取り上げられるようになりました。



薪などを生産するために整備された森



伐採木（薪）の販売

今後の活動

地域住民の方々の活動への参加を積極的に受け入れ、地域としての取り組みに発展させるとともに、地域の里山を価値あるものとして活用していくことを目指していきます。

今後、みなかみ町が薪ストーブの導入に対する補助制度を設けたことで、自伐林家の伐採木（薪）の需要が高まることも期待されます。

団体情報 Linkers（リンカーズ）

所在地：〒379-1414 群馬県利根郡みなかみ町布施 1535

電話番号：

FAX：

メール：minakami.linkers@gmail.com

ホームページ：https://www.facebook.com/minakami.linkers/



白山瀨波の会

(石川県白山市)

活動の経緯

石川県白山市瀨波地区（旧吉野谷村）は、標高約 270m、瀨波川を中心とした山間傾斜地にあります。県内でも有数の豪雪地帯で、近年、過疎化と高齢化が深刻となっています。

同地区では、約 20 年前より森林整備に利用する歩道の維持作業が行われなかったことで雑木が繁茂し、歩道が使えない状態になってしまいました。

こうした状況の中、「人が残り『瀨波』の名を残す」ため同地区の自然資源を活かした活動として、平成 28 年 3 月に「白山瀨波の会」を設立し、元気で魅力ある地区づくりに着手することになりました。

活動内容

地域の魅力を発信できる森林整備を行うとともに、来訪者が瀨波地区の自然を楽しめるように、一度は廃道となった歩道の復元と維持管理を行っています。

間伐や雑草木の刈払いを行い、明るい森林づくりを進めた結果、カタクリ（石川県の準絶滅危惧種）の群生地やイワウチワの群生地の保全や再生につながりました。

また、伐採した樹木は、歩道の整備に活用するとともに、一部は搬出し、薪や炭焼き体験の材料として活用しています。

特徴的な取組

森林の保全管理に必要となる作業道（登山道としても利用）は、一般の来訪者にも利用しやすいように整備を行っています。

平成 28 年度は約 900m、平成 29 年度は約 1km、平成 30 年度は約 600m と長い距離を整備して、来訪者が利用できる範囲を広げるように配慮しています。



活動メンバー



歩道での階段づくり作業



炭焼き窯から炭を取り出す様子



整備後に再生したカタクリの群生地

活動の成果

当地区のカタクリの群生地は国内でも最大規模の群生地とも評されるようになり、テレビや書籍等でも広く紹介され、多くの人を訪れています。

本交付金を活用した整備の結果、周辺の瀬波キャンプ場の利用組数は、平成28年度の45組（843人）に比べて、令和元年度には約10倍の401組（2,050人）となっています。

整備を行った道を利用している登山客も含めると、さらに多くの入込客の増加となっています。森林整備を通じて景観が改善され、地域の活性化につながっています。



整備後の歩道を利用する多数の登山客



整備前の歩道



整備後の歩道

今後の活動

活動が広く周知されるとともに、カタクリの群生地の拡大という形で森林整備の効果も実感できるようになりました。ただ、メンバーは集落住民の高齢者が中心となっていることから、集落外の方にも活動のサポーターになっていただき、活動を広げていければと考えています。

団体情報 白山瀬波の会

所在地：〒920-2323 石川県白山市瀬波子 19 番地 5

電話番号：076-255-5288 FAX：076-255-5289

メール：h-senami@asagaotv.ne.jp

ホームページ：https://www.hakusansenami.jp/（株式会社 白山瀬波内）

徳光町里山保全の会

(福井県福井市)

活動の経緯

福井県福井市徳光町の天神山は福井市の南部にある文殊山の麓近くに位置しています。近年、山の管理者の高齢化等の影響で、枝打ち・伐採などが行われなくなるだけでなく、自然災害の影響もあり、集落で先祖代々守り続けてきた徳光町内の里山が年々荒廃していました。

そのため、里山の中にある墓地も、草木の繁茂による通行困難な場所が生じていました。こうした状況を受け、徳光町内の住民（町内会全会員計 105 戸）が「徳光町里山保全の会」を立ち上げ、地元住民が協力して里山整備を行っていくことになりました。

森林整備を行うにあたり、福井市に相談をしたところ、本交付金のことを知りました。

活動内容

天神山を年々侵食している竹林（モウソウチク）の除去・雑草木の刈払い等により、里山林の再生と地域活性化を促進することを目指して活動を行っています。

特徴的な取組

里山林整備に当たり、対象地内の約 14ha の地権者の特定が必要となりました。そのため、交付金取得前に、森林組合などとも連携し、GPS なども駆使しつつ、位置情報を取得して、対象地全域の図面を作成しました。本図面と登記情報などを使って対象地の地権者（全 59 名）を特定し、一人ひとりに森林整備の同意を得ていきました。

チェーンソーや刈払い機の安全な使用方法については、現地に森林組合の人に来てもらい、指導を受けています。作業前に使用する機具の安全点検を行うなど、十分な注意を払っています。



主な活動メンバー



打合せの様子



位置情報を取得して作成した図面



侵入したモウソウチクの除去作業

活動の成果

チェーンソーの安全な使用方法を習得することで、それ以前より格段に作業スピードもあがりました。また、本交付金を用いて道を作ることができるようになり、これにより伐採した竹の搬出が、一部、軽トラなどで行えるようになりました。人力で行っていた時と比べると、格段に活動の効率化が進んでいます。

伐採後の竹の処理のために森林組合からチップターの貸与を受けています。チップ化した竹は、活動地内の道づくりに使用しています。

この結果、活動開始前の平成 29 年度時点では、25 mあたり 30 ～ 40 本程度のモウソウチクが密生し、立ち入りも困難な状況でしたが、徐々に明るさを取り戻しています。

また、里山林を整備したことで、数年前から深刻化していた獣害被害の軽減に効果があり、地元の方々からもお褒めの言葉をいただいています。



チップターでのチップ化作業



モウソウチクの搬出作業



整備前の竹林



整備後の竹林

今後の活動

本交付金活動の終了後も森林保全を継続し、地域の里山環境の維持・発展のための活動を継続する予定です。竹林除去後に、地域内外の住民を対象としたイベントを実施し、自然への関心・理解を深めてもらうとともに、地域の絆を深め、地域活性化の実現を目指していきます。

団体情報 徳光町里山保全の会

所在地：〒919-0305 福井県福井市徳光町 2 1 - 9 - 1

電話番号： FAX：

メール：

ホームページ：

NPO 法人 環境整備・森と竹で健康クラブ

(静岡県沼津市)

活動タイプ凡例

里

活動の経緯

環境整備・森と竹で健康クラブは、周辺に整備されていない森や荒れ果てた竹林があることを目の当たりにして、平成17年に任意団体としてスタートしました。

人の役に立つ社会貢献活動を行い、第二の人生の生きがいを見つけながら、心身ともに健康な生活を送ることを目的として、様々な仲間が集まり、活動を行っています。現在では、静岡県沼津市、裾野市、三島市、長泉町、富士市等、幅広い範囲を活動エリアとしています。

活動内容

本交付金を利用して、静岡県沼津市内にある「愛鷹運動公園」内のヒノキの人工林（市有林）や、歩道周辺の侵入竹林の整備などを行っています。

人が立ち入れないほど荒れたヒノキ人工林では、灌木の除伐、枯れ木・風倒木の除去、ヒノキの間伐、歩道の整備等を行っています。

さらに、モウソウチク・ササ・雑木を除去した跡地に、落葉広葉樹を植樹し、生物多様性の高い森林空間づくりを目指した活動を行っています。

特徴的な取組

無理をせず、無理をさせず、一人ひとりができる範囲で活動に参加するを活動の前提として、安全第一で活動に取り組んでいます。

ヒノキ間伐体験、クヌギ植樹体験、シイタケ菌打ち体験などの取り組みの際には、ボーイスカウト沼津に参加呼びかけを行い、地元の子どもたちの森林体験の機会を作っています。



主な活動メンバー



ヒノキ林での間伐作業



落葉広葉樹の植樹活動



子どもも参加するシイタケ菌打ち体験会

活動の成果

管理が行き届いていなかったヒノキ林について、除伐の後に間伐を進めることで、林内に光が差し込むようになり、表土がむき出しだった林床に下草が生えるようになりました。活動対象地は、間伐材の一部を歩道の修復に活用するなど、散策路としても利用者が森林内を気持ちよく歩ける環境を整備しています。

竹林が侵入してきた地区は、モウソウチクを順次伐採し、伐採竹はチップパーを使ってチップ化し、歩道の整備などにも活用しています。

森林を整備する活動が評価され、2014年から2019年にかけて、静岡県知事より「森づくり貢献証」の認定を受けました。

また、2019年には、全国森林レクリエーション協会による「美しの森づくり活動コンクール」にて、会長賞を受賞しました。



歩道の補修作業



チップパーによる竹のチップ化



タケノコ掘り

今後の活動

これまでの活動成果・実績から、新たな場所での森林整備の依頼も寄せられるようになってきました。一方で、活動参加者は高齢者が多いことから、若い方の参加なども呼びかけていくこととしています。

団体情報 NPO 法人 環境整備・森と竹で健康クラブ

所在地：〒410-0303 静岡県沼津市岡一色 35-1-105

電話番号：055-923-1370 FAX：055-923-1370

メール：ask@moritake-kenkoh.com

ホームページ：https://www.moritake-kenkoh.com/

活動の経緯

活動対象地となった三重県津市柏尾地区は、高齢化や後継者不足投により、原野や休耕田の荒廃が進んでいました。

そこで、荒廃した土地を健全な里山として保全していくことで、子どもたちが身近な自然に触れあえる場所として活用できるようにすることを目指すことにしました。

平成9年に該当の土地の地権者をお願いをして、約3.5haの土地を借り、市内の子どもたちが自然体験の場として活用できるような里山の整備を行っています。

会員数は49名で、そのうち45名が津市の在住者です。退職者の比率が多いですが、元気に活動を行っています。

活動内容

雑草木の刈払い、ナラ枯れ等の伐木処理、散策路の整備などの管理作業を行っています。年間250日以上（延べ1,000人）にわたって、里山の保全のための取組を行っています。

周辺地域における有害鳥獣被害を軽減するために、イノシシ、シカ、アライグマ、ハクビシンなどの棲み家となる茂みを極力なくすように、草木の刈払い等を定期的に行っています。

特徴的な取組

対象地の多くはもともとは畑地でしたが、利用されず荒廃して森林となってしまった場所が多いことが特徴です。

そのため、実態は森林でも、地目が畑地というところも多く、苦労をしながら非農地証明などの書類をそろえ、作業を行っています。

伐採木については、会員が薪ストーブやキノコのためのほだ木として利用して、人間のために森林資源を活用するだけでなく、敷地内の生きものの生息地づくりなどにも利用することで、生物多様性の確保にも貢献しています。

また、伐採や倒木などによって空いた空間は、放置してしまうと、セイタカアワダチソウなどの外来種が繁茂して



主な活動メンバー



雑草木の刈払い作業



倒木の処理作業



歩道の整備状況

しまうことがあります。

そこで、空いた土地には、クヌギ等の実生や、敷地内で採取したどんぐりから育てた苗木を移植しています。苗木が定着できるかどうかを確認するために経過を見ながら、地域ならではの里山を再生できるようにするための取組を行っています。

あわせて萌芽更新に向けた取組も行っています。シカによる食害の危険があるため、伐採木の周辺は、あまり刈り込み過ぎないように作業を行っています。



クヌギの移植作業

活動の成果

地域では、獣害問題が深刻化していましたが、交付金を用いた活動により、被害の軽減に寄与していると、地元から感謝の声が寄せられています。また、交付金を活用して里山を整備することにより、活動対象地で自然観察会、カブトムシ捕り体験、里山コンサートなど、自然と触れ合うイベントを開催できるようになりました。また、これらの取組を通じて、子どもたちが自然と触れ合うことができるようになるとともに、地域の憩いの場づくりにもつながっています。



整備した歩道を散策する子どもたち



里山コンサートの様子

今後の活動

今後も、子どもから大人まで、フィールドを訪れる皆様が楽しく里山にふれあい、自然に親しんでいただけるように里山の保全、整備を行っていきます。

団体情報 NPO 法人みえ里山自然ふれあいの会

所在地：〒514-1105 三重県津市久居北口町 2698-10

電話番号：059-256-4557 FAX：

メール：inoue23@arion.ocn.ne.jp

ホームページ：http://www.mienosatoyama.org/

平松区森林愛好会

(兵庫県丹波市)

里

資

機

活動の経緯

兵庫県丹波市春日町平松地区は、30年程前までは、財産区があり地域住民等で森林を守ってきましたが、近年は、雑草木や侵入竹で覆われ、人も近づけない荒廃化した里山となっていました。

その結果、地域コミュニティの要となる神社、仏閣、墓地に、住民が安全に安心して近づくことが出来ない状況で、神社や墓地などに続く道では、通行障害も生じていました。

そこで、平松区内の有志によって「平松区森林愛好会」を立ち上げ、里山林を整備する活動を開始しました。

活動内容

雑草木の刈払いや侵入竹、枯損竹の除去を行うとともに、森林資源利用タイプの交付金を用いて、間伐材、薪、シイタケ栽培、竹チップの利用など、森林資源を積極的に活用していくこととしています。

安全対策では、チェーンソー、刈払い機、チップパー機、薪割り機の操作実習と基本動作の確認を行うだけでなく、資機材のメンテナンスも含めて、それぞれの分野の作業に係る一連の技能や知識の習得を目指しています。

特徴的な取組

活動のコンセプトとして、森林を守るために「整備する⇒活用する⇒育てる⇒管理する」の循環をうまく機能させ、住みよい丹波の住みよい地域で安全安心の森づくりを目指すこととしています。

本交付金を活用したことで、資機材等の各種ツール類を充足させ、森林資源を利用して収益を上げています。収益は活動資金に充て、地域貢献に努める活動のシステム化を図りつつ自立化に向けて努力しています。



主な活動メンバー



薪づくりの様子



間伐作業の様子



地域住民への活動紹介

活動の成果

うっそうとしていた森林が明るくなり、見通しが良くなることで、安全安心に林道を歩くことができるようになりました。その結果、子供たちがドングリ拾いやカブトムシ採りなど、山で遊ぶ機会が増えるようになりました。区民の方々からも山が綺麗になったと好評です。

また、採った山菜を試食するなど、里山を使ったイベントもたくさん行われるようになり、住民参加や住民交流の活性化にもつながっています。

間伐等を積極的に行い、地球温暖化防止や水源涵養など防災・減災に結び付く森林整備の活動を積極的に行っています。

このほか、地域で「里山教室・里山で遊ぼう」といったイベントを開催し、整備した山の中において、竹で作ったすべり台や木からつくったブランコ、ハンモック、平均台等の遊び道具を設置して子どもが山に入りやすい取組を行うことで、子どもたちの里山へ入る機会を増やし、里山について知る子どもを増やすことに力を注いでいます。



チップパーでのチップ化作業



木のブランコ



里山ハイキングの様子



採った山菜を使った食事会

今後の活動

今後、里山体験・里山ハイキングなどのイベント開催を進めることで、森林についての理解者を増やしていくこととしています。

団体情報 平松区森林愛好会

所在地：〒669-4133 兵庫県丹波市春日町平松 820

電話番号：090-8829-3460 FAX：

メール：woody-ito@hork.ocn.ne.jp

ホームページ：

春日山原始林を未来へつなぐ会

(奈良県奈良市)

里

活動の経緯

奈良県の春日山は、原始的な状態を維持する貴重な照葉樹林として国の特別天然記念物に指定(1955年)されており、世界遺産「古都奈良の文化財」の構成資産に位置づけられるなど、奈良県民が世界に誇る財産のひとつといえるところです。

一方で、近年、シカ害の深刻化、後継樹や下層植生の衰退、ナラ枯れ被害の拡大、外来種であるナンキンハゼ・ナギの拡大など、原始林は様々な課題に直面し、原始的な状態を維持していくのが非常に難しい状況です。

「春日山原始林を未来へつなぐ会」は、奈良県が設置している「春日山原始林保全計画検討委員会」の中で、保全活動の担い手となる団体の存在が必要であるとの指摘を受けて、県内の自然保護団体等が連携して誕生した団体です。

会員数は約140名。保全活動に関わる会員は30名程度で、県が国から無償貸与を受けた国有地を活動場所としています。

活動内容

現在の原始林は多様な問題に直面しています。春日山原始林内で被害が甚大となっているナラ枯れ対策として、ペットボトルトラップの設置によるカシノナガキクイムシの捕獲と、薬剤注入による健全木の保護を行っています。

また、当該原始林だけでなく周辺の山林においても分布を拡げている外来種のナンキンハゼ(実生)の除去を行っています。近年、シカによる獣害が深刻となっていることから、植生保護柵の管理を徹底することで、シカによる獣害被害の防止の取組を行っています。

特徴的な取組

原始林だから何も行わなくてよいという誤解を防止するため、「今、原始林で起きていること」を多くの人に知ってもらうことを主な目的として、県民を対象とした観察会なども実施しています。



主な活動メンバー



ナンキンハゼの除去作業



カシノナガキクイムシの捕獲状況



原始林での観察会の開催状況

また、外部の専門家とも連携しながら、活動への理解者を広げるための取組を行っています。

モニタリング調査では、春日山原始林内で被害が甚大となっているナラ枯れ対策として、薬剤注入した健全木の生育状況を確認するとともに、ペットボトルトラップの設置によるカシノナガクイムシの捕獲数を把握する独自の調査も行っています。



植生保護柵周辺の整備状況

活動の成果

活動場所が特別天然記念物に指定されていることもあり、伐採制限などの様々な制約がありますが、活動によってナラ枯れ被害が低下傾向にあると感じています。また、シカの食害の防止の取組も進んでいます。本交付金を活用することで、迅速な対応を行うことが可能となりました。

また、広報活動を通じて、春日山原始林の現状について目を向けてくれる人が少しずつ増えてきています。



植生保護柵の外側の状況



植生保護柵の内側の状況

今後の活動

春日山原始林は、非常に貴重な生態系を有しているところです。自分たちが子どものころに慣れ親しんだ春日山原始林を守り、将来世代に引き継いでいきたいと考えています。

団体情報 春日山原始林を未来へつなぐ会

所在地：〒631-0032 奈良県奈良市あやめ池北3丁目12-27 奈良ストップ温暖化の会内

電話番号：0742-49-6730 FAX：0742-49-6730

メール：kasugatsunagu@gmail.com

ホームページ：https://kasugatsunagu.com/

現川里山保全の会

(長崎県長崎市)

里

活動の経緯

長崎県長崎市東部に位置する現川町は、山に囲まれた自然豊かな地区です。ところが、近年、森林管理が適切に行われなかったことなどもあり、同地区の道路沿いの森林に多くのゴミが捨てられるなど、対応が必要になっていました。

そのため、地区住民の現川自治会の会員が中心となって、市有林の中で森林経営計画の対象外となっていた3haの森林を対象として、長崎市と管理委託契約を結び、「うつつがわ森林公園」として森林整備の取組を始めました。

活動内容

自然豊かな現川町の魅力を多くの人に知ってもらい、地域の活性化につなげていくことを目指して森林の整備を行っています。特に、子どもたちが森の中で楽しく遊ぶ、自然を感じ、体験できる場としていくことを重視しています。

活動当初は、不法投棄されたゴミの撤去、雑草木の除伐から始めました。現在は、スギの植林地に間伐材を利用した歩道（全長300m）や東屋（休憩所）、炭焼き窯、資材置き場などを整備しています。

特徴的な取組

これまで、森林の整備に延べ600名以上の多数のボランティアにかかわってもらうことができました。

同地区では50年ほど前までは、炭焼きが盛んであったことから、かつて行われていた炭焼きの伝統を継承するため、地元高齢者の指導を受けながら、公園内に炭焼き窯を整備しました。これにより、訪れた子どもたちに炭焼きを体験してもらい、文化の継承にも役立っています。



主な活動メンバー



活動地周辺の整備状況



間伐作業の様子



炭焼き窯の整備状況

活動の成果

当初の問題であったゴミの不法投棄については、森がきれいになったこともあり、大幅に減少しました。林道は明るくなり、利用している人たちから、感謝の気持ちを伝えられるようになっていきます。

また、林内の森林整備で出た木を使って、ノコギリ体験・火起こし・炭焼き体験をセットで実施するなど、森林整備や森に関わる文化を理解していただくための取組を行い、好評を得ています。



活動前に見られたゴミの不法投棄



整備した歩道



火起こし体験



森林公園でのサマーイベント

今後の活動

林道沿いを中心として、植林地の保全活動に取り組みながら、継続して美しい里山林の維持を目指したいと考えています。また、これを地域資源として、森林公園が様々な人たちの交流拠点になるようにすることを目指していきます。

団体情報 現川里山保全の会

所在地：〒851-0135 長崎県長崎市現川町 2525 番地

電話番号： FAX：

メール：natss-ta@circus.ocn.ne.jp

ホームページ：

諏訪会山林整備活動組織

(大分県大分市)

里

竹

活動の経緯

大分県大分市内にある太田磨崖仏・諏訪神社・芝原銀杏・観音様の各周辺には、太田地区で先祖代々守り続けてきた4つの森があります。しかし、近年は雑草木の繁茂や侵入竹の広がりにより、これらの森が荒廃していました。

このため、同地区のボランティア団体である太田諏訪会が、4つの森を整備し、地域住民と地域の活性化を進めていくことを目的として、「諏訪会山林整備活動組織」を設立しました。

太田諏訪会は同地区50世帯の約30名により構成されている組織で、約50年前からボランティア活動を行うために存在しています。本交付金を活用することで、地区の森林環境保全をより広域的に進めるきっかけとなりました。

活動内容

太田地区にある太田磨崖仏及び諏訪神社を中心とした広葉樹林やスギ・ヒノキ林について、竹の伐採、雑草木の刈払い、及びそれらの集積を実施しています。これにより、地元の人々が利用する神社など、各拠点へアクセスする道の確保を行うとともに、周辺景観の改善に努めています。

また、侵入竹を除去した後は、景観の改善のため、伐採跡地に広葉樹を植栽する取組を行っています。

特徴的な取組

伐採した竹は、大分市が地元業者から借りたチッパーを無償で使わせてもらうことで、処理ができるようになりました。

また、伐採木を現場で焼却処分する際は、構成員の消防団の立会いのもとで実施しています。

作業に当たっては、チェーンソーや刈払い機の使用方法に関する安全講習を受けたことをきっかけに、安全に対する意識の向上にもつながっています。



主な活動メンバー



打合せの様子



周辺の森林整備を行っている諏訪大社



雑草木の刈払い作業

活動の成果

毎年9月に行われる「諏訪大祭」では、周辺の地域では見られなくなった神輿巡行が続いています。当地区では、こうした伝統を将来に引き継いでいきたいという思いも強く、そのためにも地区拠点の森林整備が重要という認識をもっていました。

これまではボランティアとして細々と活動していましたが、この交付金をきっかけに、森林整備に参加する地区住民が増えただけでなく、祭りの継続を通じて、地区住民の絆の深まりを実感できるようになりました。

また、祭りを通して、地元の関係者に協賛を募るとともに、住民に森林整備への参加も呼び掛けることで、活動の輪が広がっています。



諏訪大祭の様子



整備前の森林



地域住民による森林整備の状況

今後の活動

高齢化の進展が将来の不安材料ではありますが、本交付金を使った森林整備活動を行うことで、地域のきずなが高まってきました。大分県や地元の市とも相談をしながら、活動を継続するための方策を検討していくこととしています。

団体情報 諏訪会山林整備活動組織

所在地：〒870-1214 大分県大分市大字太田 335 番地の 1

電話番号： FAX：

メール：

ホームページ：



令和元年度 森林・山村多面的機能発揮対策交付金 活動事例集
(令和2年3月発行)